

まちに対する子供の関心とまち探検プログラムの開発 ～世田谷区池尻・三宿・太子堂地域を対象として～

国士舘大学工学部 学生会員 渡邊隆広
 国士舘大学工学部 学生会員 山崎健二
 国士舘大学工学部 正会員 寺内義典

1. はじめに

子供の遊びは学び・成長に大きく寄与すると言われている¹⁾。しかし都市開発の進展などにより子供のまち遊びの減少は著しく、まちに対する関心も薄れていると考えられる。こうしたなかで、まち遊びについての調査²⁾や、オリエンテーリングを用いたアプローチ³⁾など、試みがなされている。

本研究では、子供のまちへの興味を育てるための「まち探検プログラム」の開発を目的としている。まず対象地域の子供の持つまちへの関心をヒアリングにより把握する。次に、都市空間を体験するまち探検プログラムを開発・実施し、探検前後のアンケートの比較から子供のまちへの関心の変化をとらえる。

2. まちに対する関心

対象地域内の池尻児童館において、来館する小中学生26人にヒアリングを実施した。ふだんの遊び場については図-1に示すとおりで、家や児童館と言った屋内が半数以上であり、外遊びの場である公園でも3割程度であった。図-2より、主な遊びがゲームである子供の割合は半数以上である。その他、ボール遊びやかくれんぼなどの外遊びが続いている。

図-3より、多くの子供が友達と集まる場所を持っているが、気持ちの良い場所や秘密の場所となると、3~4割程度となる。一方で、いやな場所も2割程度であった。これより、まちに対する関心はさほど高くないと推測される。図-4に示すこうした経験は、どの設問も半数程度にわかれる結果であった。

対象とした子供は、外遊び機会が少なく、まち遊びはほとんどみられなかった。まちへの関心も全体としてはさほどではないと思われる。

3. まち探検プログラムの開発と実施

(1) まち探検プログラムの開発

まち探検は、まちのさまざまな事柄への気づきを養

うよう工夫されたまちあるきプログラムである。ここでは、さらにこの体験を通じて自分の住むまちに対し

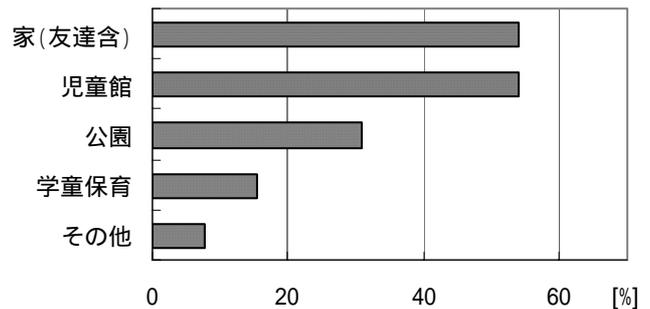


図-1 ふだんの遊び場

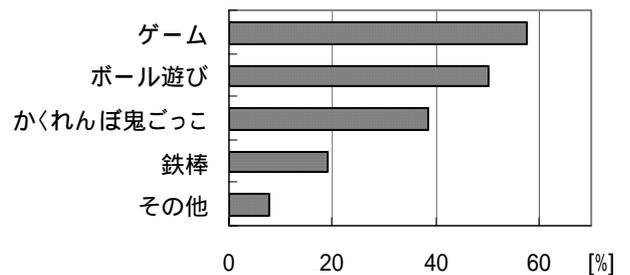


図-2 遊びの種類

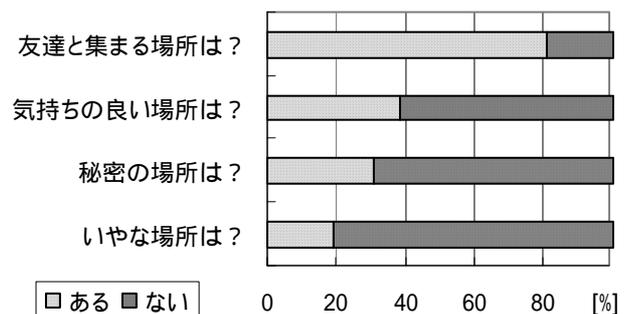


図-3 特別な場所の有無

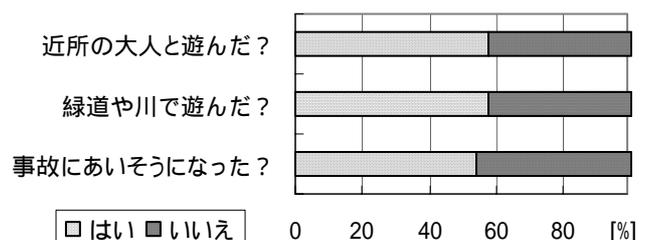


図-4 遊びやまちの経験の有無

キーワード：都市環境, 子ども, まちあるきワークショップ

連絡先：〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1 国士舘大学工学部 E-mail: terauchi@kokushikan.ac.jp

表 - 1 まち探検プログラムの実施概要

実施日	2005年11月12日					
実施場所	池尻・三宿・太子堂地区					
参加者	児童12名					
	学年	1	2	3	4	5
	男子	1	1	1	0	0
	女子	1	4	2	1	1
プログラム	事前	告知(事前ヒアリング)				
		抜け道の探検(地域のまちづくりを学ぶ)				
	当日	写真の場所さがし(まちを見る力を育てる)				
		好きな場所の撮影(まちでの気づきを養う)				
	終了後	ワークショップによるまとめ(事後ヒアリング)				

表 - 2 設定された抜け道とワークショップでの名前

抜け道	抜け道	抜け道
		
木の実の道	花の道	古い道

て興味や愛着心を高められることを目的して組み立てた。ルートを図 - 5 に示す。

まず、地域のまちづくりを学ぶこともできる「抜け道」(図 - 6)をルート上に設定した。また歩きながら抜け道についての話などをする中で、子供たちのまちに対する関心を高めるよう心がけた。次に、遊びながらまちを見る力や気づきを養うことを目指し、事前に撮影された写真と同じもの・景色をポラロイドカメラにおさめる「写真の場所さがし」を6ヶ所に組み込んだ。最後に抜け道の名前を参加した子供たち全員で考えるワークショップを実施することとした。

(2) まち探検プログラムの実施結果

表 - 1 に示すとおりまち探検プログラムを作成し実施した。まち探検プログラム前後にはアンケート調査を行い、まち探検をする前後での子供たちの意識の変化をみた。つけられた抜け道の名前を表 - 2 に示す。

「自分のまちは好きか?」に対して、探検前は肯定が2割強であったものが、探検後には8割以上となった。また今回のプログラムについて全員が「楽しかった」と回答してくれた。抜け道探しの楽しさも、ほぼ全員が肯定的でまちへの関心が高まったものと推測される。

4. まとめ

対象地域におけるまちへの関心の少なさがみられたが、このまち探検の開発・実施により、子供たちのまちへの関心の高まりをみることができた。今後、継続してまちづくりへの参画のレベルを高めていくこ

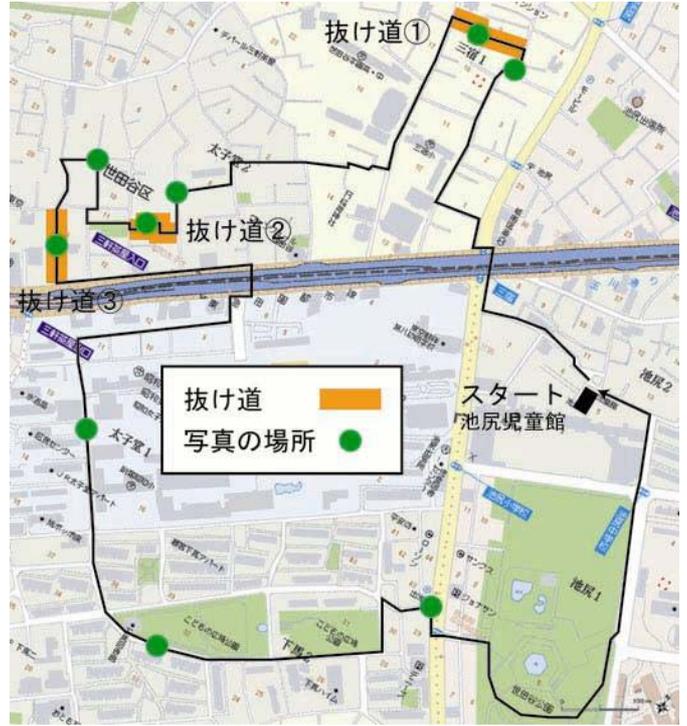


図 - 5 まち探検経路

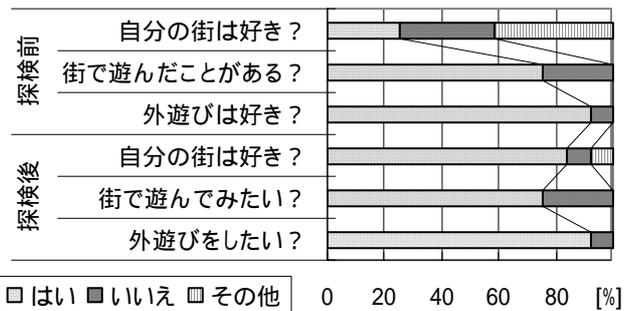


図 - 7 まち探検前後のまち・外遊びへの意識の変化

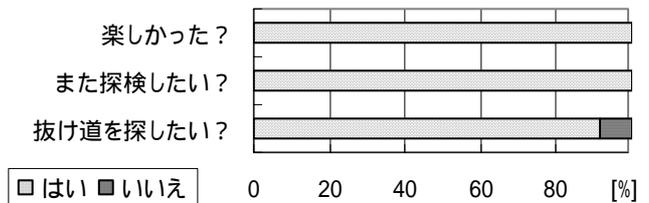


図 - 8 まち探検に対する評価

とが求められる。

最後に調査および探検プログラムの実施にあたり池尻児童館およびあそびとまち研究会に多大なるご協力をいただいた。ここに記して感謝する。

< 参考文献 >

- 1) 仙田満：こどものあそび環境，筑摩書房，1984
- 2) 子供の遊びとまち研究会：三世代遊び場図鑑，風土社，1999
- 3) 倉原宗孝，延藤安弘，横山俊祐：まちかどオリエンテリングの有効性に関する考察『まち遊び行動学』の視点から，日本都市計画学会論文集，23，pp.163-168，1988